

方言の条件表現 — 全国分布の経年変化 —

三井はるみ（言語変異研究領域）

V10

本発表の目的

- ・ 順接仮定の条件表現について、
- ・ 2回の全国分布調査 **GAJ** と **FPJD** の結果を比較、
- ・ 変化の方向の概観を得る。

概要

- 主要な形式のまとまった分布は変わっていない。
- その中で…
- ① タラ等の制限の少ない形式を使用する地域が増加
- ② 同一地域内の形式のバリエーションの減少
→ 体系の単純化
- ③ 認識的条件文を担う専用形式の確立
→ 分化の進行・完了

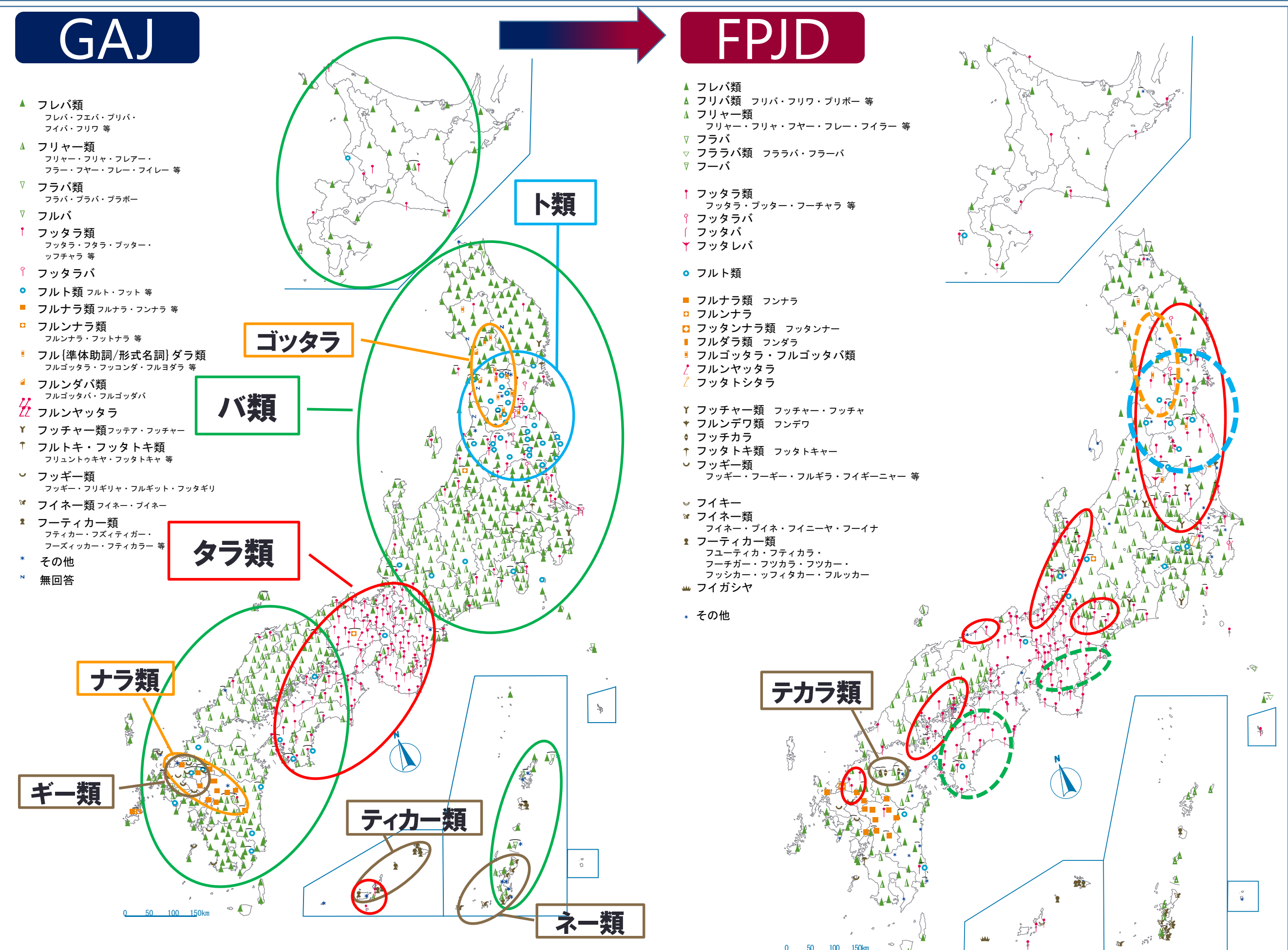
この研究は、国立国語研究所基幹型共同研究プロジェクト「方言の形成過程解明のための全国方言調査」（2010-2015年度）および、JSPS科研費26244024による成果の一部である。地図化にあたっては国立国語研究所による地図データとプラグインプログラムを使用した。

条件表現の主要形式の全国分布

GAJ

	南琉球	北琉球	九州 南西部	九州 北東部	中国	四国	近畿	中部	関東	東北 南部	東北 北部	北海道
GAJ128 きのう書けばよかった 反事実的条件	バ ティカー	バ	バ	ト	バ	タラ	タラ	バ	バ	ト	バ	バ
GAJ167 降れば船は出ないだろう 予測的条件：文末述立て	ティカー	バ	バ	バ	バ	バ	タラ	バ	バ	ト	バ	バ
GAJ169 行くとだめになりそうだ 予測的条件：避けたい後件	ティカー	バ	バ	バ	バ	ト	ト	バ	ト	ト	バ	ト
GAJ225 行ってはいけない 予測的条件：禁止	ティカー	テワ	ト	テワ	テワ	テワ	タラ	テワ	テワ	テ	バ	テワ タラ
GAJ168 降ったらおれは行かない 予測的条件：文末意志	ティカー	バ	バ	バ	バ	タラ	タラ	バ	タラ	ト	バ	タラ
GAJ170 行ったら終わっていた 事実的条件	ティカー ケンヤ	クトウ ト	タラ	タラ	タラ	タラ	タラ	タラ	タラ	タラ	タバ タツケ	タラ
GAJ133 書くならきれいに書いて くれ 認識的条件	ティカー	aバ	(N)ナラ	(N)ナラ	(N)ナラ	バ (N)ナラ	Nヤッタラ (N)ナラ	(N)ナラ (N)ダラ	(N)ナラ (N)ダラ	Nダラ	aバ Nダラ	(N)ナラ

I 明日雨が降れば船は出ないだろう — 予測的条件文



前件の未実現の事態が実現した場合に起きる結果を後件に述べる。

1. 降ッタラが増えている

- 近畿地方から周囲に
兵庫県北部～鳥取県
瀬戸内海沿岸～福岡県
北陸 愛知県西部
- 北関東～南東北
栃木県
山形県内陸部 岩手県南部
＝接触による拡大

2. 併用が減っている

- 近畿・四国のバ× → タラ専用
- 南東北のト× → バ・タラ併用に

3. 断定辞を含む形式が減っている

- 山形のゴッタラ (<コトダラ)
＝認識的条件文との区別 → III

タラが受け入れられる理由

- ＝文法的・語用論的制限の少なさ
- ・そこに{×行けば／行ったら}電話をしる (FPJD)
→ 本州以北は全域タラ

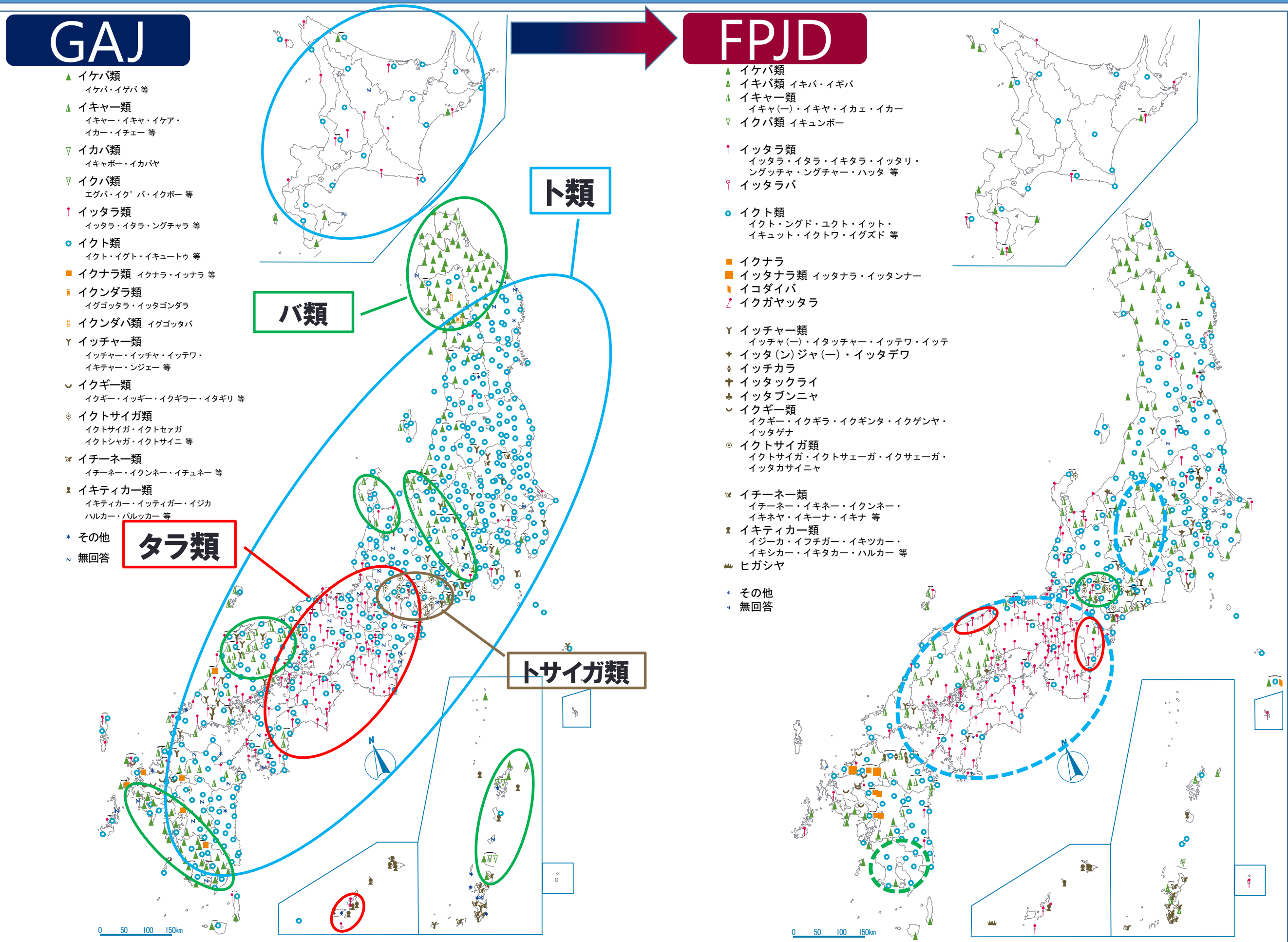
類例 福岡・大分のテカラ＝FPJDで出現

- GAJ 福岡県築上郡新吉富村
- ・ 明日雨が降リャー船は出ないだろう
- ・ 早く書キャーよかった
- ・ 行ッチェカラ悪イ（行ってはいけない）
→ バが使えないときだけテカラ

FPJD 福岡県豊前市

- ・ 雨が{降ッチカラ/降リャー}/船は出ないだろう。
- ・ 早く{書キャー/書イチカラ}間に合った
- ・ そこに行ッチカラ電話をしる
- ・ 行ッチカラツマラン（行ってはいけない）
→ バが使えるときもテカラ

II お前が行くとその話はだめになりそうだ — 避けたい事態



後件が望ましくない事態で、文全体がそのことを避けた方がよいという伝達的意味を持つ。
→ 共通語では「ば」が使いにくい。

1. 行クトが減っている

- 近畿・四国 タラ/ト× → タラ専用
- 岡山・広島、長野・群馬
バ/ト× → バ専用
＝共通語の「ば」より制限が緩い

2. 併用が減っている

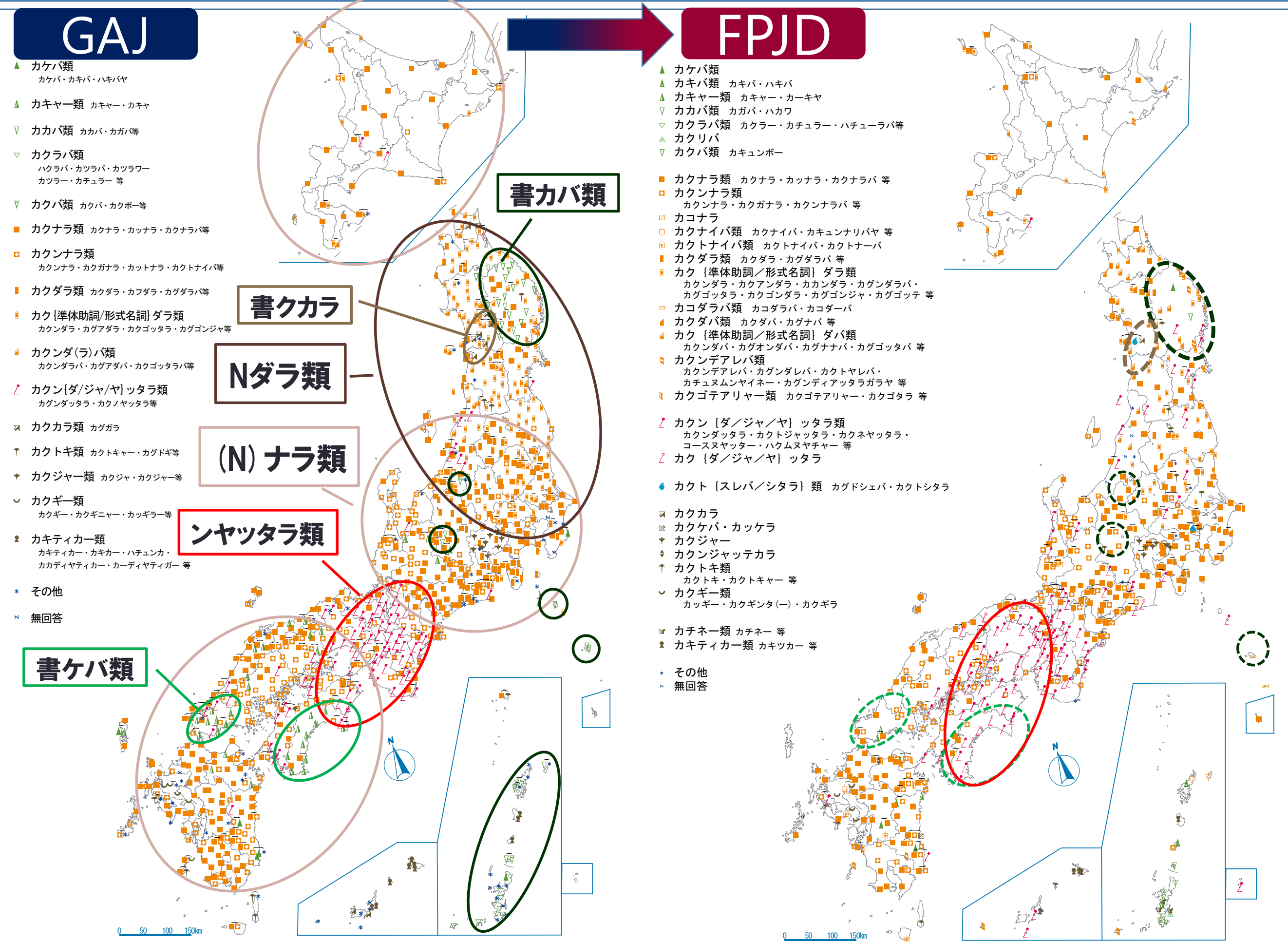
3. 行ッタラが増えている

- 近畿地方から周囲に

4. 行ケバが増えている

- 中部地方。愛知・岐阜県境など
→ 用法の限定されたトを捨て
用法の広いバ・タラを選択

III 手紙を書くなら字をきれいに書いてくれ — 認識的条件文



相手の意向や予定として実現が見込まれる事態を仮定的に取り上げる判断の条件文
→ 共通語では「ば・と・たら」は使えない。

- 全国的にもこのタイプの条件文は、専用の形式でほかの条件文と区別されていることが多い。

	GAJ	FPJD
平良市字大神	予 futika: 認 kaka:tijatika:	
伊良部村字仲地	予 fuzitiga: 認 ka:dijatiga:	伊良部町 予 fu:tfiga: 認 kaktifiga:
平良市字下里	予 fu:zikka: 認 kaka:diatsi"ka:	平良市 予 futsukara 認 futsuka: furju:iba 認 kakitsuka:
下地町字上地	予 fuzika: 認 kaka:dijakka:	上野村 予 fusska: 認 kakska:

1. 書クン{ヤ/ジャ}ッタラが増えている

- 近畿地方から周囲に

2. 併用が減っている

- 近畿の(ン)ナラ↓

3. タ形のない形式が本土ではほぼ消滅

- 書ケバ 高知県 山口県等
- 本土の書カバ
岩手県 八丈島・三宅島
長野県秋山郷・開田村
- 書クカラ 東北北部

- ①断定辞を含み、かつ②時制の対立がある形式が全国的に認識的条件文専用形式として定着。
- 認識的条件文の分化の進行完了

逆行 琉球宮古方言

- kaka-di=a=tsi"ka: 衰退？
- 書く-意志=断定=条件

